

★★★★★ ガバナー賞 ★★★★★

今できること

安田女子中学・高等学校 小井 優萌那

私は将来薬剤師になりたいと思っている。理由は2つある。

まず身近に自然があったせい小学校の頃には人の身体に優しいものを作りたいと思うようになっており、まだ薬で治すことのできない病が多くある事を知ってからは自然と薬剤師を志すようになっていたからだ。

また中学生で化学を学んでいる時、化学変化を化学反応式で表したり物質を構成しているものを考えたりすることを面白いと感じ、将来化学に関する職に就きたいと思ったからだ。

以上の理由から私は薬剤師となり創薬に携わりたいと考える。そして薬理学の観点から漢方薬の作用機序を解明して新しく薬を作りたいと思う。

なぜなら、私は薬とは本来使用者の自然治癒力を高めるものであると思うからだ。だが西洋医学では、薬は疾患の原因を排除するものとして利用されている。その点、漢方は「患者本来の治癒力を高め身体全体のバランスを重視する」ことを基本理念としている為、その作用機序を明らかにすることで現代の西洋医学では治療の難しいがんやうつ病を治癒させることができるかもしれないと考えている。

夢の実現のために今私ができることは2つある。

1つ目は学校の授業を大切に、今学ぶべきことを確実に学んでいくことだ。基礎ができていなければ研究は行えないし、大学へ行って学ぶこともできない。

2つ目は薬理学について本などを使用して知識を増やすことだ。例えばなぜ薬は病に効くのか、特効薬のない病はどんなものがあるのかなどだ。今薬理学についての知識を増やしておけば実際に薬理学を学ぶとき理解しやすいはずだし、予め知識を得ることで視野が広がり現在治癒させることができないがんなどの病に対する治療薬をつくることができるかもしれない。実際、私は血液型に関する本を読んで授業で学ぶ前に遺伝の仕組みを理解することができ、遺伝の授業の間発展的な内容を学ぶことができた。

私は以上のことを実践し、治癒力を高める薬をつくりたい。